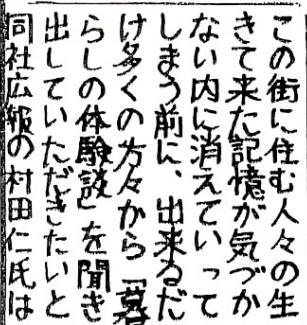


心は二重だ

画によって生まれたこの独創的な新聞は、地域に住む人々の記憶を頼りに「西成の今昔」を新聞紙上に街の風景として再現して行く。一つ一つの記事は紙面上にある家や区画の様に扱われ、街の変化同様新しい記事を入れる際には古い記事を切り取って取り壊し、少しづつ時間をかけて記事が差し変わって行く。

の察々やそこに住む人々の記憶が入れ子の様に混在するリアルな都市の姿をこの新聞は体現すると、同紙編集長山田亘氏は語る。同社是一般参加の記者を公募中。参加する記者達の取材の過程そのものが人から人への歴史の橋渡しもなっていく。



語る。時空間を書く術の移り変わりの姿を一緒に作っていく「なるへそ記者」には報道腕とメモ等が支給される。年間を通しての参加から、数回や一回限りでの参加も可能だ。

発行人：山田 昌
 編集：片岡 正・外実行・横
 山田 昌・村田 仁
 図案：村田 仁

買ひ物客で賑わう今池
公認市場。五五店舗の
一つである西野青果で
は、この度四代目の芋
洗い機を導入した。同

一人遊びが大好きで、四才から発明に目覚めた梅田哲也氏（33）。西成区での活動は、二〇一年の新・福寿荘の展覧会が始まりである。現在来年の『〇才』

の展示に向けて、街中に作品を展開しようと計画している。「〇才」のタイトルだが「おのおのが持っている価値観、知識、経験値などを無『〇』にすること、目の前に起こっている事の視点が大きく変わる。その現象を牽しんで欲しい」と梅田氏は熱く語る。時間と空間を素材として体験し提示する梅田氏の今後の活動に期待が膨らむ。

日之出温泉は山王二千二百
目にある銭湯である。お湯
を沸かすための燃料は、大
正区小林町や住之江区平林
にある製材所からのおがくず
で、リヤカーで運搬し

域研究者、デザイナー等
専門を持つ記者を採用
出来た事は大変心強い
取材対象の拡大につな
がたい」と語る。記者
は現在も募集中で、幅
広いジャンルからの応
答を期待している。

二十一日、太子一丁目
の動物園前一番街商店
街の「丸亀」より出火し、
大正時代に建てられた
店舗が焼けた。出火原
因は漏電とみられている。
「丸亀」では蕎麦や太
工職人、建設労働者向
けの作業着を製造販売
していたが、この火事
により、商品の作業着
を縫製するための型紙
が焼失した。店の村井
ているが、今後オート

康夫さん(44)は「最近
は建設現場の安全性が
向上し、色のバリエー
ションが豊富な中国の
安い既製品でお洒落や
個性を競う時代になっ
た。昔ながらの職人氣
質のお客さんが減って
いる」と語り、これを
機に店舗をカジュアル
ものを扱う洋品店へ生
まれ変わらせることを
検討しているという。

大阪市現代芸術創造事業
ex・pots 2011-2013

Breaker Project

山王・飛田・太子・新世界
地域密着型アートプロジェクト

<http://breakerproject.net>